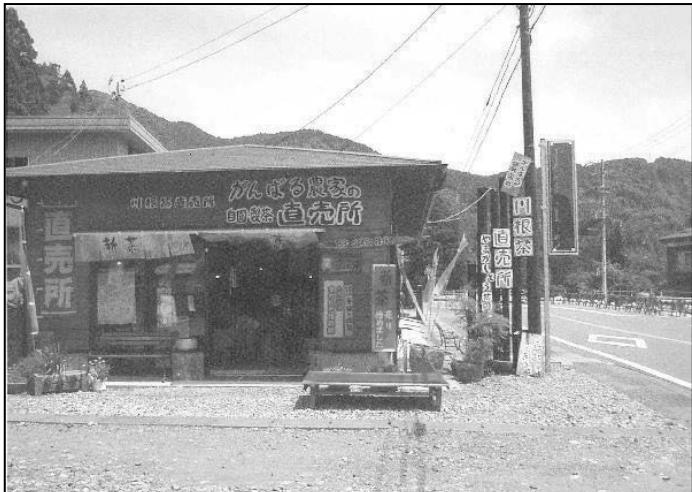


直売農園 山香荘茶園

静岡県榛原郡川根本町

<http://www.yamakasho.com>



店舗概要

創業年 1870年(明治3年)頃

売場面積 100.0 m²(30.3坪)

従業員 3.2人

営業時間 8:00~18:00

定休日 水曜日

商品構成

・茶 98.0%

・お茶うけ(お菓子等) 2.0%

経営方針

お茶は日常飲料・嗜好飲料の両面を持ち、価格・種類も多くわかりにくい商品と言われてきた。

当園はお茶の生産、加工、販売全てを解放、地域ブランド川根茶の特色を際立たせるため、一切ブレンドせず、特色ある茶を納得して購入くださるような店づくりをし、努力いたしております。

古民家を活用、体験を通して川根茶を広める

静岡県の大井川上流の川根は、古くから良質な茶産地として知られる。淹れて飲むお茶から、ペットボトルで買うお茶が普及するなかで、お茶の生産地そのものを見て、体験してもらうことを通し、日本茶本来の姿を伝える。こうした地道な事業展開の結果、コアとなるリピーター3,000人に登る。

生産、加工、販売と分業化が進む日本茶業界にあり、すべてを一事業者で完結させる「自園・自製・自販」を貫いている。山のなかの急峻な地形で、寒暖差のある気候で育った川根茶を、摘み取りから、飲み方までいつでも体験してもらえるために、店舗、工場、茶畠を開設し、受け入れる。とくに、ゆったり寛げる古民家は人気で、ときに地域のイベントにも開放。全売上のかなりな部分を通信販売が占めることでも、体験し、説明し、納得してもらうことの重要性が分かる。

園主は、煎茶を手で揉む「お茶の手揉み教師」の免状を持ち、川根揉み切り流を今に伝える。また、日本茶のおいしく多様な飲み方、おいしさを伝える日本茶インストラクターの資格を持つ。もちろん、生産者としてもエコファーマー認定を受ける。扱う商品は、日本茶のみならず、紅茶、ウーロン茶まですべて自園の茶葉で商品化している。